



上京・住まいづくりニュース No.5

2015年6月上京・住まいづくり委員会

上京病院地下構造物の解体（撤去）工事終わりました。



いよいよ建設工事に着手しました。

絶好の解体日和で始まった解体工事も、予定していた期間より一週間ほど遅れて終わりました。

解体泣かせの晴天が続き、また、お隣の基礎まで取り除いてしまい、壁が崩壊するアクシデンはありましたが、大きな苦情もなく無事終了することができました。

ただ、病院時代の構造図面が無く、掘れば掘るごとに新たな基礎が出てくるといふ工事関係者泣かせの解体工事でした。

いよいよ6月より、杭打(108本の杭打基礎)作業を12日間かけて行い、その後、掘削作業に入る予定です。



【杭打基礎作業】

右の杭打機で、穴を掘りながら、セメントを流し込んで支柱の基礎を作成していきます。

その長さ(深さ)は、6m~8mです。その上に、建物の基礎を作ります。



地域の拠点となるカーピス付高齢者向け住宅を目指し、2016年2月開設に向けて急ピッチで作業をすすめています。現在、パンフレットも作成中です。

積立も始まっています。介護福祉事業建設協力金にご協力ください。